



Solution Linkage Survey

土量計測業務の人手と工数を半減 Solution Linkage Survey で加速する生産性向上

出雲土建株式会社（島根県出雲市）

会社概要

出雲土建株式会社は「自然に学び、地域に生かす。」というスローガンの下、土木事業や建築事業、環境事業などを手掛けている。県内でも積極的に i-Construction を推進し、中国地方整備局から複数回にわたって表彰されるなど、多くの実績をもつ。



建設事業部 土木課
江戸 崇司 氏

ストックヤードの在庫管理 計画から土量計測まで一人で完結

「この現場は出雲土建が河川から掘削した土砂を、別の現場の業者がとりにくる点が特長的だ。」と江戸氏は話す。「複数の業者が出入りするため、常にどれほどの土が残っているかを把握しておく必要があった。土量計測するためには土砂を台形に整形し直し、2人以上の人手を確保する手間が発生するため、何度も行うのは負担になる。」と続ける。

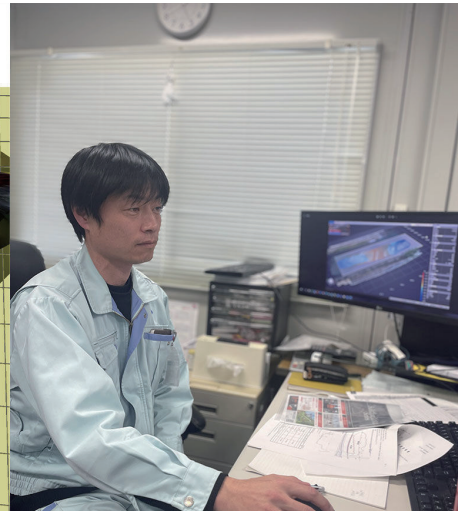
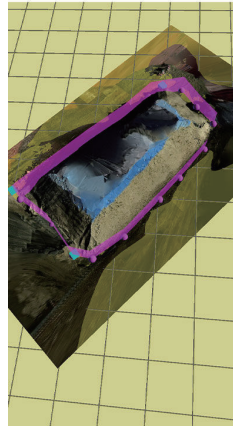
そこで江戸氏が注目したのは、オーケーリース株式会社からの Solution Linkage Survey を用い

た土量計測作業効率化の提案だった。Solution Linkage Survey は仮置土などの対象物をスマートフォンで撮影するだけで、土量計測ができる簡易土量計測ツールだ。江戸氏は本ソリューションの魅力として「使いやすさ、計測精度のよさ、手間の削減」を挙げる。「スマートフォンのアプリは操作が簡単で、一度使えば覚えられた」、「計測精度は目測と平均断面法の間というイメージで、概算数量を算出する目的としては十分」、「従来手法ではどうしても人手が要するため、スケジュール調整も含めて時間がかかってしまう。Solution Linkage Survey なら計画から計測まで現場にいながら一人で完結できるので、省人化になる」と同氏は評価する。



Solution Linkage Survey による土量計測の様子

3次元モデル: R20230111_105823719_ [3]
20230111_105812
体積(+): 1,292.94 m³
体積(-): -0.08 m³
体積(合計): 1,292.87 m³



左: Solution Linkage Survey 土量計測結果

右: 事務所内での計測データ確認の様子

さらなる ICT 活用に向けて

i-Construction への取り組みなど新技術の活用を積極的に行ってきた出雲土建株式会社。さらなる ICT 活用に向けて、「使いやすさの追求」が重要と江戸氏は考える。「新しいことに挑戦するためには新しいツールを揃えたり、慣れたりする必要がある。今後も使いやすく、効果が得られるものが増えていけば。」と、これからのソリューションに期待を込める。